

**ながの電気クラブ
2018年度活動報告書**

2019年3月

代表挨拶

ながの電気クラブは2018年1月1日に設立し、初年度を無事に終えることができました。一人のお母さんからの相談がきっかけで始まったこの活動ですが、言われてみれば地方部では、電気や機械という分野を対象に活動している団体はほとんど見当たりません。例え、要望が少ないからといってこのような分野に興味を持つ人が活躍できる場が見当たらない状況を見過ごすことができず、団体化して定期的に活動をする決心をしました。決して多くの方が関われる分野ではありませんが、電気や機械に関する活動を通して、世代にかかわらず一人でも多くの方が幸福感を感じ、より充実した生活をおくれるようになる事を願って活動を続けていきます。

どうか、皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

ながの電気クラブ 代表 亀垣嘉明

1. 活動の概要

2018年度は毎月1回 合計13回の定例会を開催し、のべ合計67名の方に参加頂けました。定例会の内容は、機会等を持ち寄ってのおしゃべり、壊れた機械の修理を試みる、他団体の展示会や発表会を見学に行くなどしました。詳細は別表に写真を添付資料に掲載します。

2. 決算

2018年度は団体としての予算はゼロ、全て代表の個人負担にて活動しました。

3. 反省点

立上げ初年度という事もあり、明確な方針や方向性も定めず、まずは「やってみよう」という気持でスタートしました。しかしながら、活動してみて次のように分かってきた部分がありました。

(1) 当初は子どものみを対象とした活動を考えていたが大人からの反応も予想以上に大きかった。大人向けの取組みの必要性を感じた。

(2) オモチャ等の修理を依頼される場面が多々あり、責任上これらをどこまで引き受けるか姿勢を明確にする必要がある

(3) 団体単独での活動には限界があり、同様の分野の他団体や学校等とのつながりを強化する必要性を感じた

(4) 対象とする子どもが成長するに従い、学業や部活動が忙しくなるなどの理由でながの電気クラブのイベントなどに参加できなくなっていくことが予想される、そのため、新たな子どもに活動を知らせるためのPRなどの必要性を感じた。

4. 2019年度の活動に向けて

上の3項の反省点を踏まえて2019年度は次の部分を意識して活動していきたいと考えています。

(1) 大人向け活動の可能性を追求

予想を超えて、大人からの反応もある事から大人向けの活動内容や方法についても模索していきます。

(2) 他団体とのつながりの強化

電気や機械を分野としている他の団体や個人、学校などと積極的につながりを作っていきます。そして将来、このつながりを基盤とした団体の枠を越えた更に大きな取組みができる事を目指していきます。

(3) 電気・機械に興味をもつ子どもの発掘

世代交代を見据えて、電気や機械に興味を持つ子を積極的に発掘していきます。具体手には子ども食堂への参加や子ども向けイベントへの出展を行っていきます。

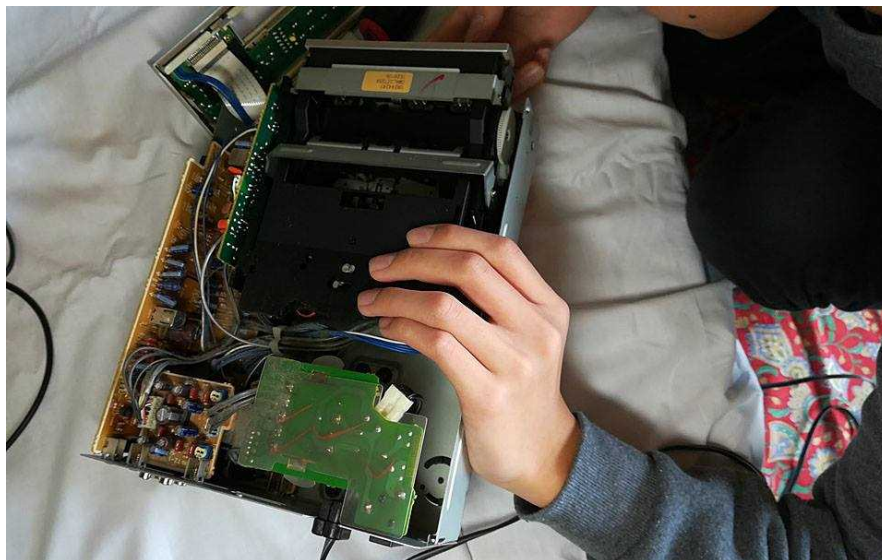
別表 1

2018 年度活動実績一覧表

実施日	実施場所	内容	参加人数
1月6日	ごちゃまぜカフェ	安定化電源装置の整備	3
2月7日	ごちゃまぜカフェ	安定化電源装置の整備	3
3月24日	ごちゃまぜカフェ	故障したカセットデッキの分解	4
4月21日	ごちゃまぜカフェ	故障したラジカセの分解	4
4月29日	ごちゃまぜカフェ	ICHIGO JAM プログラミング教室	12
5月3日	旧御山里小学校	発動機運転会見学	4
6月9日	ごちゃまぜカフェ	故障したアンプの修理	4
7月21日	白馬ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ	発動機運転会見学	5
8月18日	ごちゃまぜカフェ	パソコン分解組立て体験	8
9月9日	ごちゃまぜカフェ	元電子技術者の話を聞く会	6
10月13日	JR長野総合車輛センター	同センター 一般公開の見学	4
11月11日	ごちゃまぜカフェ	スターリングエンジンの観察	5
12月15日	ごちゃまぜカフェ	スペアナ使用体験会	5
		参加人数合計(のべ人数)	67

添付資料

3月24日 カセットデッキ分解の様子



7月21日 白馬での発動機運転会



10月13日 JR 長野総合車両センター見学



12月5日 スペアナ使用体験会

